

診療行為に係る死亡事故症例の年間発生件数試算

1. 試算件数

1,300~2,000件/年

2. 試算根拠

発生件数の試算根拠となり得る下記の2調査を基に年間の発生件数を試算した。

①日本医療機能評価機構の医療事故情報収集等事業による年報報告からの試算

【算出方法】

日本医療機能評価機構で収集した件数^{※1}を全国の病院病床数で割り戻した数

	報告医療機関 (総病床数)	死亡事故 (件数)	死亡事故数/病床	全国病床数	推計発生件数
18年	273 (147,636)	152	0.10%	1,626,589	1,627
19年	273 (144,736)	142	0.10%	1,620,173	1,620
20年	273 (144,158)	115	0.08%	1,609,403	1,288
21年	273 (144,019)	156	0.11%	1,601,476	1,762
22年	273 (140,724)	182	0.13%	1,593,354	2,071
23年	273 (141,051)	140	0.10%	1,583,073	1,583

②厚生労働科学研究での試算

「診療行為に関連した死亡の届出様式及び医療事故の情報処理システムの開発に関する研究
(主任研究者:堀口裕正、分担研究者:野本亀久雄他)平成20年度」

【算出方法】

病院へのアンケート調査より得られた報告死亡^{※1}件数を全国の病院病床数で割り戻した数
ア) 病床数を用いた推計

調査病院機関 (総病床数)	死亡事故 件数 ^{※2}	死亡事故数 /病床	全国病院数 (総病床数)	推計発生件数
1,684 (421,427)	516	0.12%	8,951 (1,628,022)	1,954

イ) 退院者数を用いた推計

調査病院機関 (退院者数)	死亡事故 件数 ^{※2}	死亡事故数 /退院者数	全国病院数 (総退院者数)	推計発生件数
1,684 (5,061,824)	516	0.01%	8,951 (14,323,777)	1,432

※2 アンケート結果は6ヶ月間の数値であるため、表中の死亡事故件数は結果を2倍し年換算した。

※1 ①・②の調査は、医療法施行規則に該当する事例として報告されたものの中から死亡事故に限定して推計したものである。